

グリーン購入とは...

製品やサービスを購入する際、必要性を十分に考慮し価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境のことを考えて、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入することです。

実践！三重大大学のグリーン購入

購入・調達ヒント

- エネルギーの消費が少ない製品
- 少資源の製品（詰め替え製品に切り替え）
- 長期間の使用ができる製品
- 再生素材を多く利用している（素材も確認）
- 過剰な在庫をなくす（必要数量の購入！）

例えばこんなマーク



捨てる時まで考える

- 廃棄する時は容易に分解・分別できる製品
- 再使用が可能（まだまだ使えないか？）
- リサイクルが可能（分解できるか？）
- 食品ロスをなくす工夫（冷蔵庫チェック！）



判断の目安

- 環境に影響を与えないこと
- 人の健康に被害を与えないこと

グリーン購入法（正式名称：国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（第3条）国及び独立行政法人等の責務【義務】）

国及び独立行政法人等は、物品及び役務の調達に当たっては、環境物品等への需要の転換を促進するため、予算の適正な使用に留意しつつ、環境物品等を選択するよう努めなければならない。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs目標12 つくる責任 つかう責任

グリーン購入は、SDGs（持続可能な開発目標）目標12に該当する活動です。

- 天然資源の持続可能な管理と効率的な利用をする（12.2）
- 一人当たりの食料の廃棄を半減、食品ロスを減少させる（12.3）
- 人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する（12.4）
- 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用する（12.5）